

平成30年12月21日 第6号

やはすの風

北九州市立門司総合特別支援学校
校長 奥田まさ子

いろいろな学習に取り組みました

【A小学部】

学期末の学部集会に向けて、各学部が日頃の学習について発表し合う取組を行いました。1年生は手あそび歌、2年生はハンドベル演奏、3, 4年生は小だいことキーボードの合奏、5, 6年生は自作ダンスパフォーマンスと、それぞれの学年ならではの見ごたえのある発表内容でした。19日の発表当日は、どの学年も練習の成果をしっかりと発揮し、自信をもって発表している姿が印象的でした。サンタさんの登場や、学部の先生方による演奏などもあり、とても楽しい学部行事となりました。



【A中学部】

11月30日、時間走記録会が行われました。子どもたち一人一人が、記録会当日までの練習の成果を発揮し自分の目標の周回数を目指して、先生方や友達とともに15分間力いっぱい走りました。その結果、自己記録を更新した生徒がたくさんいました。記録会に向けて練習するなかで、一つのこと続けて取り組む「根気」、走る距離を伸ばしていくことで身に付く「体力」、自分の記録を伸ばそうとする「やる気」が養われてきたことと思います。当日、子どもたちに熱い声援を送ってくださった保護者の皆様、ありがとうございました。



【A高等部】

本年度の後期実習は、11月5日から16日までの2週間で、1年生は校内実習、2, 3年生は校外実習に取り組みました。



11月29日には実習報告会を行いました。生徒一人一人が卒業後の社会参加と自立に向け、自分の目標をしっかりと実習に取り組みました。

報告会では、一人一人が実習の成果と今後の課題を堂々と発表することができました。保護者の皆様には多数ご参加いただき、ありがとうございました。

生徒の皆さん一人一人が、前期・後期の実習を振り返り、今後さらに自分の力を発揮してくれることを期待しています。

【B小・中学部】

12月19日、やはす荘の利用者の皆さんとの交流及び共同学習を行いました。この日のために、プレゼントのリース作りやハンドベル演奏に取り組んできました。交流の時には、少し緊張しながらもきれいな音を響かせて喜んでいただきました。もちつきでは、3人組でかけ声をかけながら、息を合わせてもちをつき、小もちを丸める体験をしました。最後に、つくたてのおもちを全員でおいしくいただきました。



本校の皆さん一人一人が、学校生活でのいろいろな経験を通して、「自分で考えて行動する力」を確実に身に付けてきています。日々の学びと成長を3学期につなぐため、冬休みも規則正しい生活をして、穏やかに新年を迎えましょう。1月8日の始業式に皆さんの元気な笑顔に会えるのを楽しみにしています。

PTAバザーが大盛況でした

11月27日、PTAバザーが開催されました。C棟相談支援ゾーンの4つの部屋いっぱい、小・中・高等部の子どもたちの年齢や興味関心に配慮された手作り品をはじめ、たくさんの商品、ゲーム等を準備していただきました。

各学部別に買い物の時間を設定していただいたことで、子どもたちは各自のペースで買い物やゲームを楽しむことができました。会場では、子どもたちの素敵な笑顔がたくさん見ることができました。「自分のお小遣いの金額を意識しながら、欲しい物を自分で選ぶ」「お店の人に自分の言いたいことを伝え、お金を払って買う」といった買い物学習の貴重な体験ができました。

バザー委員会を中心として、保護者の皆様には、当日までの準備と当日の運営など、子どもたちのために心温まるご支援をいただき、ありがとうございました。



【保護者の皆様へ】

2学期は、いろいろな学校行事や教育活動が行われました。お子様の日々の生活管理と教育活動への保護者の皆様のご理解・ご協力に感謝申し上げます。

新しい年も、ご家庭と密に情報交換を行いながら、お子様のさらなる一歩のために指導・支援に努めてまいります。

体調にご留意いただき、よいお年をお迎えくださいますように。来年もどうぞよろしくお願い致します。